



# 亀っ子だより

第2号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2019年4月26日

## 朝、大きな声で挨拶をしてくれる男の子に出会いました

晴れた空がすがすがしい朝でした。交差点に立とうと、亀崎の町の中を歩いていると「おはようございます」と元気な声がしました。ふと声のする方を見ると、30mくらい先にランドセルをしょった男の子がこちらを向いていました。この子が私に声をかけてくれたのだと思い、「おはようございます。元気がいいね」と私も声を掛けました。男の子はニコツとして自分の集合場所のほうに歩いていきました。朝の静かな町の中、大きな声を出すのは勇気のいることと思いますが、私を目ざとく見つけてくれて、元気よく挨拶をしてくれたことをとてもうれしく思いました。この男の子に一日のエネルギーをもらったように思いました。

## 掃除をしている子どもに声をかけました

PTA 総会の前日、ゴミ箱がいっぱいになっていないかと、ビニル袋を片手に見て回りました。トイレ掃除の子に「トイレのゴミはありませんか」と声をかけると「あります」と言ってゴミの入ったゴミ箱を持ってきてくれました。私の持っているビニル袋にゴミを入れると「ありがとうございます」と気持ちのよいお礼が帰ってきました。教室の前で「ゴミ箱のゴミは残っていませんか」と声をかけると「あります」と言ってゴミの入っているビニル袋を女の子が持ってきてくれました。私は「このビニル袋の中に上手に入れてください。こぼしたら、自分で掃除をしてください」と意地悪く言いました。すると、「緊張するなあ」と言いながら持っているビニル袋の口を上手にすぼめて、私のビニル袋の口の中に入れ、少しずつゴミを移し替えてくれました。全部入りきったところで「完璧です。工夫してできたね」と私が言うと、女の子はとてもうれしそうな顔をしてくれました。掃除をしているどの子に声をかけても、とても気持ちの良い対応をしてくれました。子どもとのやりとりはとても楽しいものです。

## 礼儀正しい中学生に出会いました

土曜日の朝、亀崎自主防災会総会に出席しようとして運動場を歩いていると、3人の男子中学生がサッカーをしていました。「こんにちは、サッカー部の練習は今日はお休みですか？」と尋ねると「1年生なのでまだ部活動はありません」と答えてくれました。総会から帰ってくるとバスケットボールを持った女の子が体育館から歩いてきました。「もう、練習は終わりましたか？」と声をかけると「はい、終わりました。今から家に帰るところです」と答えてくれました。どこのおじさんか知らない私に声をかけられても、きちんと受け答えをしてくれる中学生にとっても驚きました。私は、大人に声をかけられてきちんと受け答えができることは、中学生であってもハードルの高いことだと思っています。しかし、この日に会った中学生は誰もが、突然の質問にもかかわらず、もじもじしたり無視したりすることなく、きちんと私と向き合って礼儀正しく受け答えをしてくれました。亀崎小の先輩たちを、人として誇らしく思いました。

## 1・2年生の交通安全教室 交通指導員さん・PTAのみなさんに感謝

22日(月)1・2時間目に1年生、3・4時間目に2年生が交通安全教室を行いました。この日の予想最高気温は27度と夏日の予想でした。朝、8時40分頃、交通指導員さんとPTA校外指導部の皆さんが運動場に集合しました。朝礼台前で簡単な打ち合わせをした後、それぞれの担当場所へ分かれて行きました。道の歩き方、横断歩道・信号の渡り方、傘の差し方や持ち方など、とても丁寧に指導してくださっていました。訓練をしている途中も大きな車が下り坂を勢いよく走っていったり、信号で右折や左折の車に出会ったりしました。亀崎の町の中は道幅が狭いところでも交通量が多いので、大人がついてこのような訓練を1年生、2年生と合計2回行うことはとても大切だと思って訓練の様子を見ていました。2年生の訓練が終了し学校に帰ったのは、12時30分を過ぎていました。指導してくださった人たちは、4時間近くも夏日の中、子どもたちのために指導してくださったこととなります。本当に頭が下がりました。交通指導員さんとPTA役員の方は、その後、さらにその日の反省をまとめていました。先に給食を食べてしまった私は、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。子どもたちのためとは言え、すごいことだと思いました。

## 頼もしい学級委員に出会いました

3年生と一緒にさやぐら見学に行った時のことです。山車の説明を聞いて、最後にさやぐらの中に入って幕を近くで見せてくれました。入口で担任の先生が子どもたちに指示を与えていたので、私は子どもたちが出てきたところを見ていました。子どもたちがだんだんさやぐらから出てきて、人数が増えてくると道に飛び出してしまいそうで気を付けていました。そこへ女子の学級委員が私の近くに来て「校長先生も見てください」と話しかけてきました。「道にはみ出さないか心配なのでここにいるね」と答えると「私がしっかり見ているから大丈夫。はみ出さないようにしているから見てきていいよ」と言ってくれました。「それじゃあ」と幕を近くで見させてもらいました。帰ってくると、男子も女子もちゃんと並ばせていてくれました。とてもしっかりしていると感心しました。頼もしい学級委員に出会えてうれしく思いました。

## ♣ 子育てアラカルト ♣

### [めがねのトリック]

「庭には、白い花がいつも咲いていなければならない」というめがねをかけた私が、庭に咲く赤い花を発見する。

なんだ赤い花か、がっかりだ。

なぜ、白くないんだろう？

白く変えてしまいたい。

と私は思う。

「庭には、赤い花がいつも咲いていなければならない」というめがねをかけた私が、庭に咲く赤い花を発見する。

わ！赤い花だ！うれしい。

ずっと咲いているか不安だなあ。

いつまでも咲き続けさせよう。

と私は思う。

花は、ただ、咲いているだけなのだ。

(八巻 香織著「ひとりでできる 心のであて」より)

あなたは、どんなめがねをかけて子どもを見ているのだろうか。

(ある教育者のひとり言 より)